



三小だより

令和5年度 三ヶ所小学校通信

No.17

令和5年
10月18日(水)
文責：古賀正洋

実りの秋

秋もすっかり深まり、子どもたちの服装も、次第に厚く、長い、温かい物に変わってきていますね。

秋の深まりとともに、学校でもお米と芋が豊かに実りました。5年生と2年生が、それぞれ収穫を行いました。

5年生は、稲刈りを行いました。6月初めに苗を植えた田は、黄金色に実り、収穫の時期を迎えました。

慣れない「稲刈り鎌」での刈り取り作業でしたが、みんな協力してきばきと作業を進め、刈った稲をプールのフェンスに干していきました。

この日も、JA青年部の皆さん、そして5年生保護者の皆さんにご協力をいただきました。ありがとうございました。この後、来週には脱穀を行い、最後の「もちつき集会」までつなげていきます。

稲刈り



サツマイモ

2年生は、サツマイモの収穫を行いました。

畑全面を覆うつると葉を抜き取り、地面を掘り進みます。

しばらくすると、土の中から大きな芋が姿を現しました。

2年生が、小さな手で掘り進め、大小様々なサツマイモを、たっぷり収穫しました。

この後、保護者の皆さんのお力もお借りしながら、おいしい焼き芋に変身させる予定です。



県内の小学校でも、こうした“収穫の喜び”を味わえる体験が、どんどん無くなってきているようです。三ヶ所小学校の子どもたちには、周りの方々への感謝の気持ちを大切にしながら、『実りの秋』をたっぷり味わって、この笑顔を見せ続けて欲しいと思います。

